

日に日に厳しい寒さも和らぎ、  
柔らかな日差しに春を感じられるようになりました



## 絵本作家ましませつこさんとの出会い

賛助会員 星野 輝子

2003年（平成15年）清瀬市郷土博物館で「ましませつこ絵本原画展 夢のおくりもの」が開催されました。こののはじまりは、私の夫・当時の清瀬市長が軽井沢の絵本美術館で絵本の原画をみて、郷土博物館で地元在住の絵本作家真島節子さんの絵本原画展をぜひ開催したいとの交渉と企画を私にふってきました。しかし、もともと私にそれだけの知識・能力があるわけではありません。困り果てたすえお願いしたのがピッコロの小俣さんをはじめとするそこで活動していた皆様でした。

結果、郷土博物館と市民の共同事業として準備が始まり、真島さんの郷里の鶴岡の方々の協力も得て、展覧会は成功することができました。

夫と絵本の出会いは1967（昭和42）年頃だったと思います。当時、総務課長に就任したばかりで、帰宅時間が遅かったにもかかわらず、2人の子どもが寝る前には必ずといってよいくらい絵本を読んでやっていました。

当時一冊300円で我が家でも簡単に手にすることができた岩波書店出版「岩波こどもの本」シリーズ きかんしゃやえもん・おさるのジョージ・はなのすきなうし・ちいさなおうち・やまのたけちゃん・かにむかし等々が子ども達のお気に入りでした。

夫は読み聞かせを通して知らず知らずのうちに絵本の喜びと可能性を知ったのでしょう。それ以来、絵本が大好きになったようです。

今から8年前、ピッコロの皆様が折ってくださった千羽鶴に囲まれて夫は旅立ちました。現在は激務から解放され、静かにピッコロのご活躍と発展を見守り、喜んでいるに違いありません。

絵本作家ましませつこさんとは＝「あがりめ さがりめ」（こぐま社）「ととけっこうよがあけた」（こぐま社）など。清瀬市在住の絵本作家。当法人が委託を受け作成した清瀬市子育てガイドブックの表紙も2回お願いした経緯もある。



### 【新型コロナウイルス感染症予防について】

約1年間、感染対策にご協力いただき、感謝いたします。引続き安全チェックリストを使用しての活動を継続してまいります。

支援者と利用者、お互いがお互いのために、チェックリストを再度確認して活動いただきたく、お願いいたします。今後の変更等は、HPでも随時ご案内いたします。

### 【年度末につき更新手続きのお願い】

当法人の会員の皆さま、1年間ご利用いただき感謝致します。また、支援に当たっていただいた皆さまにも改めてお礼申し上げます。

2021年4月1日から継続してご利用希望の方や支援にご協力してくださる皆さまには、更新手続きをしていただけるようお願い致します。



## 2021年度 梅園・清明小・四小学童クラブの運営

2021年4月1日から、梅園学童クラブ、清明小学童クラブ、四小学童クラブは、当法人が指定管理者として運営をしていくこととなりました。

これまで乳幼児のいる家庭を中心に活動してきた当法人がなぜ学童クラブを実施するのか、2/13(土)27名の支援者が集い、「ピッコロスキルアップ研修会」として支援者と一緒に考えてみました。講師には、当法人理事の西郷泰之氏にお願いし、ピッコロの理念の下、子どもの「最善の利益」実現のため、子どもの意見も聞きながら(何でも言いなりになるということではなく)、職員と家族とピッコロ会員と地域の皆さんで共に作っていきけるといいですね、と西郷先生。

### .....【参加者感想】.....

- ・心温まるお話が聴けました。清瀬で生活する中で、地域で何らかの形で関わりを持ち続けていきたいです。
- ・地域での支え合いの大切さがよく分かりました。
- ・ピッコロの理念の一つである「子どもの幸せのため」子ども本位という理想の下、学童が運営しようとしていることが良くわかった。現状など知らないこともあり、とても勉強になりました。

- ・なぜピッコロが学童を…と思ったが、目指す学童が誕生すると良いなあ…協力できることをしたいです。
- ・すべての子ども達のために、いつも子どもが輝くために子どもの意見を聞きながら地域の人たちと一緒に作る、地域で子ども達が生活していくために親の参加が大切であると学びました。

## 各事業の取り組み



### 順天堂大学は、ファミリーサポート事業を終了します

「DDユニット」は、医療系研究者や医療従事者を抱える東京医科歯科大学と、順天堂大学、株式会社ニッピバイオマトリックス研究所の3機関が共同で運営し、女性の研究者や医療従事者、またその家族を支援する事業体です。

2016年10月、東京医科歯科大学・順天堂大学のファミリーサポートシステムの構築支援を準備期間としてスタートし、2017年4月に、DDユニットファミリーサポート(東京医科歯科大学・順天堂大学・(株)ニッピバイオマトリックス研究所)の運営を受託してまいりました。しかし、順天堂大学では、ファミリーサポート事業を2021年3月末で終了し、ファミリーサポートに代わる保育支援については、新型コロナウイルス感染対策を含む社会情勢を踏まえながら、現在、検討を行っているそうです。

それにより、2021年4月1日からは、東京医科歯科大学単独でのファミリーサポートになります。

### 市民有志の皆さん・清瀬市社会福祉協議会・清瀬市の共同による 緊・急・食・堂!!

昨年約1年間の新型コロナウイルス感染症の影響で、職を失ったり、ステイホームで様々な困っている家庭の増加、学生達の困難、ひとり暮らしの老人やひとり親家庭など、このまま見過ごすことが出来ないと有志が清瀬市へ提案、消費生活センターの調理室を提供いただき、「緊急食堂」が実施されたそうです。当日は社会福祉協議会のフードドライブの品物提供もありました。

当法人も支援家庭への提供ができ、「全部手作りのお弁当、美味しかった!」「子どもと半分こして食べ、この日は子どもとゆっくり過ごすことが出来た!」「青菜の苦手な子どもが完食した!」「ご飯が二種類も入っていて嬉しかった」などなど、召し上がった方達から感謝の気持ちがたくさん届きました。

200食ものお弁当を作ってくださった方のお一人は「美味しいお弁当だったこと」が一番良かったこと。3団体からの寄付、食材の寄付、個人からの寄付で実施でき、ボランティアの方々も気持ちよく参加して下さったと感想をお話してくださいました。そんな人とのつながりが、困った、大変だった方々の心を温かくしてくれたと、感謝の気持ちでいっぱいでした。





2009年4月、日本で初めてホームスタートが行政からの委託事業になったのは、清瀬市です。「清瀬市ホームビジター派遣事業」なので「ホームビジター」の呼び名が清瀬ではなじみ深いです。今回、清瀬で初めてパパのご利用があり、取材させていただきました。

## 父親の育児参加、地域の人達に支えられて 利用者 A/N さん

息子が生まれた翌日から育児休暇を約1年取った。理由は「命がけでむすこを産んでくれた妻の役にたちたい」「ワンオペ育児をやってみたい」「子育てのやりがいさ、大変さ、孤独さを味わってみたい」「自分をここまで育ててくれた親のキモチになってみたい」「パパ友やママ友と育児トークしてランチがしたい」等



ミルク作りもスムーズに

そして、父親が積極的に育児参加をする時代、世代、世界になっていると仕事(子育て関係)を通じて感じた為。

現在むすこは7ヶ月。離乳食デビュー中で絶賛夜泣き中。僕の育児休暇中仕事は週に1度出勤。ママは4ヶ月目から常勤出勤。お互い仕事が重なる日はファミサポの提供会員にお願いし、優しく暖かく、サポートして頂いた。ママが勤務の時は週に1度ピッコロさんのホームビジターを利用、「つどいの広場」デビューと一緒に同行してもらい、離乳食を買いにいく、食べさせる練習もして頂いた。むすこの成長を親身になってみて、育児の悩み、生活全般の些細なことも傾聴してくれた。ありがたい(涙)

むすこが3ヶ月ごろミルクを飲まない事で市の保健師さん、助産師さん、ピッコロのオーガナイザーさん、アドバイザーさんに相談。的確で優しいアドバイスを頂き、ミルクを飲むことが出来た。ミルクを飲んだ時は嬉しいより安堵した。

簡単そうで難しいが、地域の人達に支えられて育児をしている事、むすこや僕らの成長を見守ってくれている事を身に染みてわかった。

保活、ベビーマッサージ教室、ワンオペ育児で自分の時間がなくなる、孤独になる、飛んじゃうくらい忙しい日々、仕事をした後に育児をする大変さ、休日でもほっとできない日々、イライラ爆発して妻と大喧嘩、そんな中でも、むすこの笑顔、家族の笑顔で何もかも吹っ飛んでしまう!

育児をさせてもらった会社、家族に感謝!つどいの広場の方達も暖かく迎えてくれて感謝しています。



ミルクを飲んでお昼寝タイム

## 笑顔に迎えられて

### ホームビジターT/S さん

ママの職場復帰でパパが育休に入られるので、ホームスタートの利用をされるということでした。

U君は4ヶ月母乳からミルクの切り替えてミルクにも少しずつ慣れていき、パパはU君のタイムスケジュールも徐々にわかってきて、眠い、おむつ、ミルクと要求もどんどん把握されていきました。訪問時、パパもU君も笑顔で迎えてくれ、パパとの会話も違和感なく息子のように接してくれました。「つどいの広場」訪問ではママ友(?)も出来、情報交換されました。パパ友ができればという願いは、次回に持ち越されました。

U君は、順調に成長、よく笑い、よく飲み、離乳食もよく食べ、よく体を動かしています。身近で週に一度、一緒に過ごすことが出来て、私自身がパパから学ぶことも多く、楽しく貴重な時間に感謝しています。ありがとうございました。

身近で週に一度、一緒に過ごすことが出来て、私自身がパパから学ぶことも多く、楽しく貴重な時間に感謝しています。ありがとうございました。

身近で週に一度、一緒に過ごすことが出来て、私自身がパパから学ぶことも多く、楽しく貴重な時間に感謝しています。ありがとうございました。



## インタビューから...

### ●利用のきっかけは?

A. 育児に参加したいと思っていたところ、保健師さんに紹介いただいた。

### ●つどいの広場、平日は父親がいないのでは?

A. 最初はビジターさんが一緒に行ってくれたので安心して、その後、1人でも行ってみようと思えた。パパ友は出来なかったが、広場のアドバイザーが調整してくれてスムーズに会話ができ、ママ友ができ、ママ達と話すことで自信になった。

### ●育休をとってどうだった?

A. 育児の大変さを実感。奥さんの苦労や実母のことが理解でき、その立場に立って考えられるようになった。家事や育児のバランスを保つことや自分の自由時間の確保の難しさ、孤独にもなった。育休をとるプレッシャーはあった。職場に感謝。1人で頑張らない、子育て支援を上手に利用しながら広場でママ友と話す機会は、育児や家事の参考になり、夫婦生活にも活かせると思った。



《会員状況 2021.3.1 現在》正会員 61 名・準会員 111 名・賛助会員 18 名 (団体 3 名・個人 15 名)

◇3,000 円以上寄付者・34 名◇ 星野輝子さん・・・ありがとうございました。  
 ＊＊＊

♥法人会員♥



新鮮こだわり中国料理  
**同心居**



(株)関工務店 スガハラ印刷



\* NPO の活動を維持していくため、ピッコロでは寄付を募っています。事務所にぼち袋も用意していますが、直接お振込みくださる方もいらっしゃいます。会員の皆さんに限らず、お知り合いの方へもお声掛けいただくと嬉しいです。お気持ちをお願いします。

【寄付お振込先】 ゆうちょ銀行【口座名】子育てネットワーク・ピッコロ【口座番号】00190-6-602187

1 月～2 月の動き	— これからの活動予定 —
○ピッコロ △K-net、つどいの広場 ◆ファミサポ	HS=ホームスタート HV=ホームビジター
1/5(火) ○定例会 1/6(水) ◆サブ/アド調整会議 △K-net 運営会議 1/8(金) △K-net 子育てひろば 1/9(土) ○ルーム職員会議 1/11(月) △つどいの広場調整会議 1/12(火) ◆3～4 か月健診(ファミサポ説明) 1/15(金) OHV スキルアップ研修会 1/19(火) △K-net リフレッシュ講座(中止) 1/22(金) ◆近隣市アドバイザー研修会(中止) HV 大江戸戸端会議(OG しゃべり場 ZOOM) 1/28(木) ◆提供会員スリッパ研修会 1/29(金) ○東京都助成事業 第 2 回検討委員会 2/1(月) ◆サブ/アド調整会議 △K-net 運営会議 △つどいの広場調整会議 2/2(火) ○正会員のつどい 2/5(金) △K-net 子育てひろば 2/6(土) ○ルーム職員会議 2/8(月) ○東京都助成金ヒアリング(ZOOM) 2/9(火) ◆3～4 か月健診(ファミサポ説明) 2/13(土) ○ピッコロスキルアップ研修会 講師:西郷泰之氏 2/26(金) HS トラスティ会議(中止)	3/1(月) 9:15～ ◆サブ/アド調整会議(ころぼっくる地域活動室) 9:30～ △K-net 運営会議(事務所) 13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場) 3/2(火) 10:00～ ○定例会(けやきホール/セミナーハウス) 3/5(金) 18:30～ ○東京都助成事業・第 3 回検討委員会(事務所) 3/6(土) 9:00～ ○ルーム職員会議・年間カリキュラム(事務所) 3/8(月) 10:00～ △K-net サポータースキルアップ講座 「SNS に惑わされるママ! ～子育てにおける SNS の利用について考えてみよう!～」講師:小俣みどり 3/9(火) 13:10～ ◆3～4 か月健診(ファミサポ説明) 3/12(金) 10:00～ △K-net 子育てひろば(アイレック会議室) 3/16(火) 14:30～ ○責任者会議(けやきホール第 3 会議室) 3/22(月) 14:00～ HS 外国にルーツを持つ家庭支援 OG 研修会(ZOOM) 3/23(火) 10:00～ ○子どものガイドブック修正について(アイレック) 3/26(金) 10:00～ HS 東京 HS 推進協議会(ZOOM) 13:00～ HS 外国にルーツを持つ家庭支援 OG 研修会(ZOOM) 3/27(土) 13:30～ ○第 59 回理事会(事務所) 3/29(月) 18:30～ ○ルーム運営委員会(事務所) 3/30(火) 14:00～ HSJ 学齢児家庭支援試行報告会(ZOOM) 4/1(木) 9:00～ ○ルーム入園 4/3(土) 9:00～ ○ルーム職員会議(事務所) 4/5(月) 9:15～ ◆サブ/アド調整会議(ころぼっくる地域活動室) 10:00～ △K-net 運営会議(事務所) 13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどい) 4/7(水) 10:00～ ○正会員のつどい(けやきホール第 3 会議室) 4/9(金) 10:00～ △K-net 子育てひろば(アイレック会議室) 4/13(火) 13:10～ ◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)

2020 年度第 18 回定期総会  
 6 月 13 日(日)14:00～



（編集後記）  
 ホームスタート・ジャパン主催の多胎家庭支援の研修会に参加し印象に残ったこと。ついどっちがお兄ちゃん? と聞いてしまうかもしれないが双子を育てている方は「お兄ちゃんだから○○なんだね」「やっぱりお兄ちゃんだ」という言葉が自身の子育てには耳障りだったと言った。数分違いで生まれた子どもをお兄ちゃんという見方ではなく、一人ひとりの子どもの個性を大切に比べないよう子育てしているという。当法人の理念に「個々を尊重する社会」とある。支援する側にとつては当たり前だが相手手にとつては当たり前でないことを念頭において。

さる 2 月 22 日、副市長が御逝去された。2003 年清瀬市次世代育成支援行動計画ニーズ調査、2004 年清瀬市次世代育成行動計画策定シンクタンクの受託から、当時、財政部長であった副市長・中澤弘行様には様々な場面でご指導いただきました。昨年の学童クラブ指定管理者選定委員会の委員長も務められ、当法人が選定いただいた後に、「しっかりやるように」との言葉をいただいていたところでした。新庁舎の完成も間近でしたのに残念です。ご功労に敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。